

2016年度 学校評価報告書（京都聖母学院幼稚園）

学校目標 (園目標)	カトリックの人間観・世界観にもとづく教育をとおして、子どもたちの心を、たくさんの「大好き」でいっぱいにする。
---------------	--

校長名 (園長名)	寺井朝子
--------------	------

重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことが大好きな（自己肯定感をもつ）子ども、お友だちや周りの人が大好きな子どもを育てる。 ・様々なことに興味関心を持ち、何事にも積極的に行動できる子どもを育てる。 ・地域貢献や子育て支援の充実をはかる。 ・研修をとおして、教員のスキルを上げる。
------	--

学校自己評価			
目 標		評 価	
番号	重点目標	具体的方策	取組の成果 次年度への課題と改善
1	・自分のことが大好きな（自己肯定感をもつ）子ども、お友だちや周りの人が大好きな子どもを育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の担任による宗教教育に加え、定期的に宗教担当者による神様のお話を聴く。 ・たくさんの友だちや教員、来園者と関わりを持ち、考えや思いを伝えあったり共有することで、信頼関係を築けるよう導く。 ・震災復興支援バザーをとおして、被災地のことを過去のものとせず、自分たちにできることを考え、行動に移していけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各担任によるお祈りや宗教の絵本や紙芝居の読み聞かせ、各学年で合同集会を行い、宗教担当者（教頭）による神さまのお話を聴くことで神さまへの関心が高まった。 ・日々の保育の中で、自分の思いを言葉で伝えていけるように指導し、教員が一人一人の思いに寄り添いながら、相手とのコミュニケーションをとれるよう援助していくことを心がけた結果、「ありがとう」「ごめんなさい」など、素直に言える子どもたちの姿が見られた。また、保育者が模範になるよう、挨拶や立ち居振る舞いなどにきをつけることで、元気に笑顔で挨拶ができるようになった。 ・震災を風化させず、心のこもったバザーを実施することができた。今年度は、在園児に加え、未就園児保育参加者にもバザー参加を呼びかけた。また、福島県のつつみ幼稚園と手紙等の交流や職員交流もできた。
2	・様々なことに興味関心を持ち、何事にも積極的に行動できる子どもを育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・年間体験活動の増加に加え、栽培・収穫の活動を全学年で実施する。 ・他所属との交流会や小学校の体験授業を実施する。 ・園庭遊びの時間を増やす。また、毎日サーキット遊びを30分程度実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回の全学年による書道体験では、フランスで開催された「第1回『書を学ぶ』展2016 in France」に参加し、賞をいただくことができた。 ・京都中央卸売市場による「出張市場お魚先生」の実施、また、栽培・収穫については、芋ほり・玉ねぎ引きに加え、ピーナッツ引きを実施した。 ・小学生から短大生までが園児と交流し、各所属それぞれの学びとなった。また小学校の体験授業や各種交流会は、例年子どもたちの楽しみとなっており、小学校進学への期待が高まった。 ・園庭での活動においては自由遊びに加え、サーキット遊びを充実させた。晴天時はほぼ毎日実施することで、子どもたちの体力の向上に繋がった。
3	・地域貢献や子育て支援の充実をはかる。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援イベント「せいぼであそぼ！」を年間9回、園庭開放を年間6回実施した。 ・子育て支援サロンでの子育て相談の実施（希望者対象に毎週水曜日実施） ・地域子育て支援講演会を実施する。 ・預かり保育の充実を図る。 ・地域に基づいた子育て支援を検討・実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児とその保護者の方が参加くださり、本園の教育や取り組みについて関心を持っていただくことができた。また、安全な遊び場を提供し、なおかつ園の施設を知っていただくことができた。 ・子育てに悩む在園児の保護者や地域の保護者の方の利用があり、本園を身近に感じてもらえる機会となった。 ・講師の 医師 吉田たかよし氏による「鬱に負けない子育て」をテーマとした講演内容に、たくさんの参加があった。 ・預かり保育時間の延長を検討する。 ・小規模保育事業白井乳児園・プレスクール エンゼルネットと連携施設に関する協定を結んだ。 ・京都子育てネットワーク（ふかふかや）と連携し、子育て支援イベントの紹介をした。
4	・研修をとおして、教員のスキルを上げる。	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修を年間3回実施する。 ・管理職による新任研修・保育参観指導を実施する。 ・カリキュラムの見直しと再構築をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・神父様や宗教担当者による宗教研修・ベテラン教員によるエッセイズ研修を実施した。 ・個人面談や日々の保護者対応など、シュミレーション研修を実施し、必要に応じて、その都度、声かけ指導をした。 ・保育内容を精査し、よりレベルの高い教育が実施できるよう、月案や時間割の内容についても見直ししていく。

学校関係者評価	
実施日	2016年 10月 3日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>【保育内容・園生活について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感謝の気持ちを持ったり、それを伝えることの大切さを日々教わっているなど、子どもを見て感じる。 ・エッセイズに意欲的に取り組み、集中力がついてきた。 ・保育内容・体験活動がともに充実してきた。さらに縦割り保育の時間や外遊びの時間を増やしてほしい。 ・保育時間の延長を希望。 ・プールに入る回数を増やしてほしい。室内プール設置希望。 ・早朝・預かり保育の日数を増やしてほしい。 ・子どもの身だしなみに対する指導を徹底してほしい。 <p>【行事について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事ごとに子どもの成長がみられ、満足している。 ・参観が多い。 ・お泊り保育や親子遠足を実施してほしい。 <p>【家庭との連携について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面談日以外でも、子どものことを相談できるよう、より、電話や声かけの回数を増やしてほしい。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもだけでなく、保護者の教育も必要である。（マナーなど） 	